

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構評議員会（第46回）議事要旨

1 日 時 令和3年3月24日（水）持ち回り開催

2 出席者（回答者） 浅海、ビール、大野、奥野、鬼頭、芝井、島田、谷口、曄道、永里、永田、長谷山、林、藤井、室伏、横手の各評議員

3 評議員会（第45回）議事要旨について

令和2年6月30日に開催された評議員会（第45回）議事要旨が確認され、確定版として了承された。

4 議 事

《審議事項》

（1）令和3事業年度計画（案）について

令和3事業年度計画（案）について審議が行われ、原案どおり承認された。

主な意見は以下のとおり。

（○：評議員 以下同）

- コロナ禍で計画通り実行できず、評価結果の確定スケジュールの変更が余儀なくされたことは理解する。
- コロナ感染症対策としては勿論のこと、今後の働き方や業務改革のためにも、デジタル化の推進が急務と思う。学位審査システムのクラウド化など業務のデジタル化推進に伴う情報システムの安全な管理運営が望まれる。

（2）令和3年度機構内予算について

令和3年度機構内予算について審議が行われ、原案どおり承認された。

主な意見は以下のとおり。

- コロナ禍によって余儀なくされた遠隔会議、遠隔による審査など異例の支出もあったと思うが、今後は計画にあるように業務のデジタル化、クラウド化を進めて、旅費、運送費、会議費、書類の削減などにより、長期的にはコスト削減につながるように進めてほしい。
- 機構長裁量経費の増額等好ましい。

《報告事項》

（1）給与規則等の改正について

人事院規則等の改正に伴う人事関係規則の改正について報告がなされた。

以上